

いのちを守れ くらしを守れ

日本国憲法25条は、「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とうたっています。新型コロナウイルスから安心・安全の日々を取り戻すために、憲法の様々な条項の実現が求められます。

自粛や休業要請は、補償と一体で

イギリスでは、労働者も自営業者もフリーランスも、所得8割補償。私権の制限には、「正当な補償」が必要です。



29条

「文化」は生きるためにも 不可欠

生活・健康・文化の保障は国の責任です。



医療・検査体制の拡充を

国は公衆衛生の向上に努めなければなりません。



25条

憲法 13条

生命・自由・

幸福追求の権利は、

最大の尊重を必要とする

表現の自由、知る権利の保障を

本当のことを知りたい 言うべきことを言いたい



21条

お金の心配せずに、学ぶ権利がある

就学援助・給付奨学金の拡大を
奨学金の返済猶予・免除を



26条

全ての人に働く権利がある

解雇や雇止めで困っていませんか。



27条

あきらめないで、相談を

全労連ホットライン

0120-378-060

憲法いかしたコロナ対策を

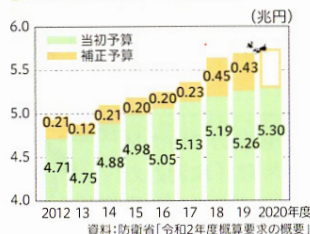
武器より命!

兵器の「爆買い」要らない

ローマ教皇は「今は武器をつくり売すべき時ではない。人々を支え、命を救うために巨額を費やす時」と呼びかけました。空母や戦闘機で命は守れません。

過去最高の5兆3000億円の防衛予算による米国兵器の“爆買い”など要りません。韓国は国防費を削ってコロナ対策に回しています。医療・公衆衛生の抜本的強化で命を守り、コロナ不況からくらしを守るためにこそ、税金を。

防衛予算は史上最高 5兆3000億円を越える



F35ステルス戦闘機



147機
総額 **1.7兆円**

陸上配備迎撃システム



「イージス・アショア」
2基
6000億円超

オスプレイ



17機
3600億円

コロナウイルス対策に
予算を

政治にジェンダー視点を

国連は、「コロナ対策にもジェンダー視点を」と呼びかけています。

コロナによる生活困窮は、シングルマザーや非正規女性など、弱者にのしかかっています。外出自粛によってDV(家庭内の暴力)や子どもの虐待が増える中、シェルターの確保など女性と子どもを守る施策が必要です。

コロナ対策をはじめ、政治にジェンダー視点が重要です。市民の声で政治を動かしましょう。

憲法9条を今こそ

コロナ感染の広がりの中、戦争の愚かさや危険性が改めて示されました。「今は、世界を苦しめている病気とたたかおう。即時停戦を」という国連事務総長の地球規模の停戦呼びかけに賛同国が広がっています。

自国の利益にとらわれることなく、地球市民として国境を越えて連帯することが求められています。「2度と戦争しない」と決めた憲法9条を生かした平和外交と、憲法前文にうたわれている「国際協調主義」の実現が、今こそ求められています。

だれの子どもも
ころさせない
せんそうのどうぐ
つくるのやめよう



幕張メッセで開催された「武器の
見本市」に抗議のスタンディング

“命を守るために働く人”が最も尊いのだと、世界中が今、気づいたのではないのでしょうか。殺傷兵器の性能向上に費やす能力があるのなら、医療の発展に役立ててください。武器の売買で儲けたお金があるのなら、文化や社会の維持のために使ってください。

政治の誤りを正す知性と勇気のある人。異なった立場の人にも歩み寄れる優しい人。そんな人に子どもを育てます。世界の命を守るために。

安保関連法に反対するママの会@ちば(金光理恵さん)